

就職活動体験記

中国電力内定 理工学部 機械工学科

私は、二酸化炭素の排出を削減することに貢献したいと考え、それなら日本の二酸化炭素の排出量、3割を占める電力業界だと思ったので、電力会社を志望しました。私は大学院進学の方を強く考えていましたが、行きたいところに行けるなら学部生の内に入社したいと思っていましたし、大学院に行ったとしても学部生での就職活動の経験は役に立つと思ったので就職活動をしました。

私の就職活動を振り返ると、大学2年という早い段階で電力業界に興味を持っていたことが良かったと思います。早い段階で興味を持っていたことで電力業界や環境の勉強を事前に行っていたり、ECOボランティアに行くといった環境に関する活動もすることができました。説明会や面接では、そこで、得た知識や経験を基に話ができて、面接官の方には「よく勉強しているね。」と言われました。

就職活動を試してみましたが、企業の方は能力も大切かもしれませんが、それよりも自分の企業に興味を持っているのかということ大切にしていると思います。なので企業研究をすることはとても大切だと思います。実際、私が就職活動で失敗したところは企業研究が不十分だったことが原因の一つだと思います。

また、私は就職キャリア支援事務室の就職活動報告書をよく利用していました。面接では何を聞かれるのかその企業が採用する上で何を大切にしているのかなど、実際に先輩が就職活動で経験したこと、感じたことが書いてあるのでとても参考になりました。

あとは、学部生だった私は、大学院生のように研究では勝負できないと思ったので、人がやっていないようなこと、つまり自分の個性をとにかく押ししました。

これから、就職活動をする上でいろいろ大変なこともあると思いますが、自分が何をやりたいのかをよく考えて、妥協せずに頑張ってください。